

共立130周年に向けて、受け継がれる伝統。
学生による企画展示

繡い彩る 針と糸の美



会期

2015.10.10 (土)
～11.5 (木)

休館日

日曜日 (10月 18 日を除く)
及び祝日・10月 16 日・19 日



Kyoritsu Collection

共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス

本館 1 階展示室

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線 /

「神保町」駅下車 A9 出口から徒歩 1 分

東京メトロ東西線 /

「竹橋」駅下車 1b 出口から徒歩 3 分

東京都千代田区一ツ橋 2-2-1 TEL : 03-3237-2665

入場無料



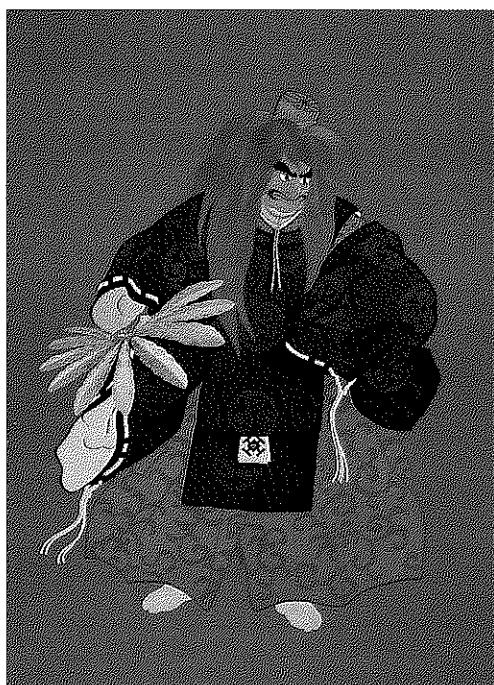
繡い彩る 針と糸の美

明治 19 年の共立女子職業学校の開校以来、近々 130 周年を迎えるとする本学ですが、学校設立当初から、作品を明治天皇にご覧に入れるなど、生徒による刺繡制作がさかんに行われ、その後も、数多くの博覧会に出品し、賞賛を受けたという歴史を持っています。

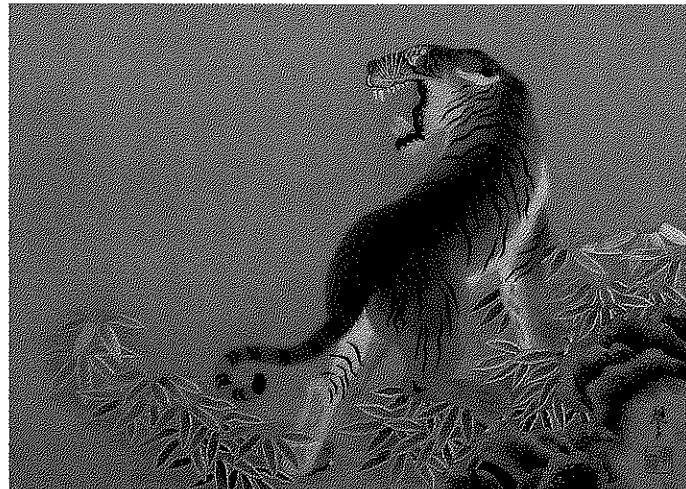
不幸にして、大正 12 年以前に制作された刺繡作品は、関東大震災で焼失してしまいましたが、大正 14 年から第二次世界大戦が始まる昭和 16 年までに制作された作品および教育資料は、幸いにも戦火を逃れ現在に至るまで残っています。これらは本学の歴史にかかわる貴重な資料だといえるでしょう。

本展覧会は、共立女子学園の歴史をこれら刺繡作品とともに振り返り、かつて本学でどのような刺繡教育がなされてきたのかを、生徒たちが生み出した作品を中心に、収集された刺繡コレクションも合わせ展示することにより、明らかにしようとするものです。

主な展示作品



鞍馬天狗図刺繡衝立
昭和・20世紀



虎図刺繡衝立
昭和・20世紀